

|        |       |
|--------|-------|
| 整理番号   | 29004 |
| 評価対象年度 | 令和4年度 |
| 編成区分   | 当初    |

事務事業評価(事前)シート

|       |           |
|-------|-----------|
| 提出日   | 令和3年11月8日 |
| 事業担当課 | 廃棄物対策課    |

《基本情報》

|                              |                                     |                               |   |
|------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|---|
| 事務事業名                        | 提案型協働事業実施費<br>(高齢者等のごみ出し支援事業)       |                               | <input checked="" type="checkbox"/> 新規<br><input type="checkbox"/> 拡大 |
| 基本施策                         | F2 高齢者が安心して自分らしい暮らしを続けられる地域づくりを進めます |                               |   |
| 2025年度にめざす姿<br>(なにが、どうなっている) | なにが                                 | どうなっている                       |   |
|                              | 高齢者が                                | 地域のみみんなと支えあい、いきいきと安心して暮らしている。 |   |
| 個別施策                         | F2-3 地域の支援体制を構築します                  |                               |   |
| 2025年度にめざす姿<br>(なにが、どうなっている) | なにが                                 | どうなっている                       |   |
|                              | 地域の人々が                              | 協働して高齢者を支えている。                |   |

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 現状・問題点                   | ごみ出し支援として実施している「ふれあい訪問収集事業」について、高齢化社会の到来による利用者の増加に対し、現行の収集体制では対応が困難である。     |
| 目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)   | ごみ出し支援を希望し、利用条件を満たす方全員がサービスを利用できる   |
| 課題(どういふことをする必要があるのであるのか) | 直営及び委託業者での収集には人員等に限りがあるため、ごみ出し支援の新たな仕組みづくりが必要であり、地域の団体と協働した支援の体制を構築する必要がある。 |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 上記の問題点に対して現在行っている事業の有無        | 有・ <b>無</b> ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)   |
| 当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業 | 有・ <b>無</b> ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)<br>新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。 |

《事業の概要》

|  |   |
|--|---|
| 事業の具体的内容<br>(対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載) | <p>福田小学校区コミュニティ連絡協議会と協働を行い、福田小学校区(大浜町、小浦町、福田本町、小江町)において、協議会の選任した支援員が利用者宅までごみの戸別収集を行い最寄りのごみステーションに排出し、併せて希望者には声かけによる安否確認を行う。<br/>協働事業をととして、ごみ出し支援を必要とする方が居住する地域自体に対応してもらうモデル事業として実施し、市全体へ拡大できるか検証を行う。</p> <p>【事業期間】令和4～5年度<br/>【総事業費】1,951千円<br/>【事業費内訳】令和4年度 委託費:951千円<br/>令和5年度 委託費:1,000千円</p> <p>【提案事業の内容】</p> <p>①支援対象者の把握 ⑤ごみ出し支援事業の実施<br/>②対象者選定基準の策定 ⑥ごみ出し支援事業の修正<br/>③関係者との打合せ ⑦ごみ出し支援事業の検証<br/>④対象者の選定 ⑧翌年度の事業検討</p> |
|--|---|

|                                  |  |   |       |       |       |       |      |
|----------------------------------|--|---|-------|-------|-------|-------|------|
| 業務量の増減                           | 令和3年度 77.5時間の増(協働団体との連絡調整15.5時間、選定審査会準備23.25時間、予算確保7.75時間、協定書締結準備31時間)<br>令和4年度、令和5年度 104時間の増(協働団体との連絡調整、分別・収集ノウハウの提供、現行の仕組みの改善、新たな仕組みづくりの構築等 4h/1日×26週(2週に1度)を想定) |   |       |       |       |       |      |
| 市民等の参画と協働のまちづくり(取組みに☑をし、その内容を記載) | <input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働<br>福田小学校区コミュニティ連絡協議会との連携を密に行い、より良いごみ出し支援の仕組みづくりにつなげる。             |   |       |       |       |       |      |
| 事業期間                             | <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (R4年度～R5年度)   |   |       |       |       |       |      |
| 予算額                              |  | 金額(千円)  | 国     | 県     | 地方債   | その他   | 一般財源 |
|                                  | 当年度  | 951   |       |       |       | 951   | 0    |
|                                  | 総額   | 1,951   |       |       |       | 1,951 | 0    |
|                                  | 財源名称   | 長崎伝習所基金   |       |       |       |       |      |
| 成果(活動)指標                         | 指標(単位)   | ごみ出し支援の新たな仕組み導入にかかる検証の進捗率                       |       |       |       |       |      |
|                                  | 年度   | 令和4年度   | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 |      |
|                                  | 目標値  |   | 100%  |       |       |       |      |
|                                  | 成果指標及び目標値の説明   | 提案型協働事業が最大2カ年実施可能であるため、令和5年度中に導入可否の検証を終えることとする。 |       |       |       |       |      |

## 評価結果

|  |  |
|--|--|
| (1)今後の事業の方向性と理由  |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 採択   | <input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小<br><input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 不採択   | <input type="checkbox"/> 企画不十分   |
| <input type="checkbox"/> 一部不採択   | <input type="checkbox"/> 企画不十分   |
| (2) 評価会議における指摘事項   |  |
| 福田小学校区コミュニティ協議会と協働して、福田小学校区(大浜町、小浦町、福田本町、小江町)において、協議会が選任した支援員が、高齢者等の利用者宅までのごみの個別収集と希望者に対する声かけを行うものである。<br>ごみ出し支援の新たな仕組みづくりとして、地域の団体と協働し、支援の体制を構築するモデル事業として、本事業を実施するもので、今後、市全体への拡大も見込まれることから、事業の実施は適当である。 |  |